

# ハイキング部だより

第240回

令和6年(2024年)3月3日(日)～安土城下散策コース

コース:安土駅～城郭資料館～信長の館・文芸の郷～安土城跡～百々橋～  
セミナリヨ跡～北川湧水～安土駅(約6.5キロ)

参加者 14名

3月3日(日)第240回ハイキング実施。参加者14名。少し風がありましたが快晴のもと一面に広がる田んぼの中の道を先ずは「信長の館」を目指して歩きました。白く雪を頂いた比良の山並みが見え心地よいハイキングとなりました。

一人集合時間に遅れた人があり10時30分スタート。11時過ぎ文芸の郷に到着、入場券を買って信長の館へ、1992年に開催されたスペイン・セルビア万博で日本のメイン展示物として出展された原寸大の安土城天守の最上部(5,6階部分)が設置されていました。1579年信長の命により建築された安土城は、日本で最初に天守閣を備えた城であっただけでなく世界で初めての木道高層建築で高さ46mの壮大で金箔が多数使われた実に絢爛豪華な城で、訪れたポルトガルの宣教師ルイスフロイスがヨーロッパにもない壮大なものと絶賛したと伝えられています。

ちょうど「安土城シアター」でショートムービー(15分間)が始まるというので中に入って観ました。発掘調査や研究資料に基づき安土城と家臣の屋敷、城下町を再現したもので見ごたえがありました。信長の館を出てすぐ近くの公園で昼食そのあと安土城址へ、信長が1576年丹羽長秀に命じ約3年の歳月をかけて完成、絢爛豪華な城郭だったと伝えられています。現在は石垣が残っているだけです。そのあと日本初のキリシタン神学校の跡地、愛知川からの伏流水と言われる北川湧水を見て安土駅に戻りました。駅前の信長の銅像の前で写真を撮り14時過ぎの電車に乗って帰りました。



信長の館に於いて



織田信長の銅像をバックに



信長の館に於いて





## 第240回ハイキングは下記の計画で実施しました

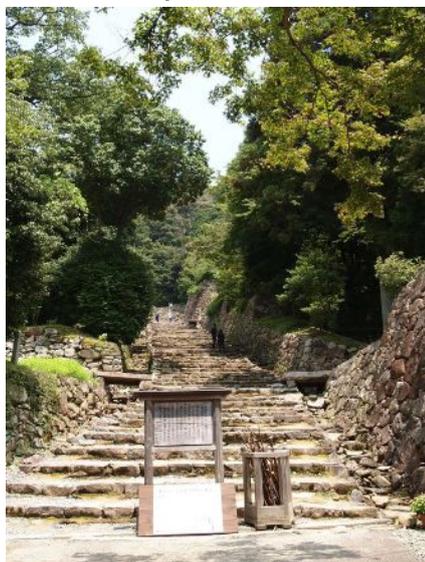
### ～ 安土城下散策コース ～

日 時:令和6年3月3日(日) 10時 JR「安土駅」集合

コース:安土駅～相撲やぐら～城郭資料館～信長の館・文芸の郷～  
安土城跡～百々橋～セナリヨ跡～北川湧水～安土駅(約6.5キロ)  
(注)信長の館に入館します。入館料 610円(滋賀県在住者は無料)

安土城の築城は、織田信長が武田勝頼を長篠の戦で破った翌年に始まり3年後の天正7年(1579年)に完成しました。築城に当たっては畿内、東北、北陸から多くの人夫が集められ、当代最高の技術を持った職人たちが動員されました。その3年後天正10年に本能寺の変で信長が殺されると城は明智光秀の手に渡り、その光秀が羽柴秀吉に敗れたすぐ後に天守・本丸は焼失してしまいます。現在石垣のみが残っており昭和27年に特別史跡に指定され文化財として保存されています。セナリヨ跡はイタリア人宣教師オルガチノによって天正9年(1581年)に創建された日本最初のキリシタン神学校の跡で、安土城炎上の際に焼失し現在は推定地の一部が公園として整備されています。

信長の館には1992年に開催されたスペイン・セビリア万博で日本のメイン展示物として出展された原寸大の安土城天守(5・6階)が展示されています。北川湧水は愛知川の伏流水で年間を通じて水温がほとんど変わりません。地元の人たちの生活用水として野菜を洗ったりスイカを冷やしたり活用されています。



安土城跡



信長の館・文芸の郷



信長の館



北川湧水



セナリヨ跡



城郭資料館